

国際ロータリー
第2660地区

ガバナー

新谷 秀一



新年明けましておめでとうございます。
皆様お健やかに新年をお迎えのこととお慶
び申し上げます。どうぞ本年もよろしくお
願い申し上げます。

今月はロータリー理解推進月間であります。
会員にロータリーの知識と理解を一層深め
てもらうための月間で、また、地域の人々
にもロータリーについて理解していただ
こうというの大きな目的です。

ロータリーを真に理解していただくために、
ロータリーの本質ともいべき精神について、
ガバナー月信2007年1月号に『ロータリー
理解推進月間にあたって』と、地区研修委
員会リーダー・戸田パスト・ガバナーがお書
きになった趣意を再確認し、ロータリアンの
精神的な根幹としてご理解いただければと
思う次第です。以下は文中からの抜粋です。

「ロータリーが100年にわたり繁栄してき
たのは、親睦、友情、世の中にお役に立つ
ことを実行し、誠実、寛容の精神、他人を
尊重する原則を守ってきたからです。これ

からもロータリーは社会のニーズに対応す
る力量が存在する限り発展し続けるのです。
常に口にしてはいる奉仕の理想は『人の身になっ
て考え、人のお役に立とうとする心』で、
古来より人間社会に存在する最高の倫理観
であり、ロータリーの綱領の本文の『有益
な事業の基礎に奉仕の理想をしっかりと定着
させ、力強く育て上げること』は事業の基
本なのです。決議23-34の第1に、『ロータリー
は、利己と利他の調和を目的とする人生哲
学である』と、人間の志すべき道を示してい
ます。『もし、ロータリーのお陰で、人生と
か人間に対して温かい見方ができるようにな
ったとしたら、そして、もしも全てに対して
広い心を持ち、他人の長所を認め、人生の
喜びと美しさを自分にも他人にも施す人と
付き合うことができるならば、ロータリー
に期待している全てを我々に与えてくれた
事になる。』ロータリーの素晴らしさを知る
には、ロータリーを理解することである。」